

中部地区 公民館だより

第184号

令和8年6月5日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

新任のあいさつ



中部地区公民館
館長 布川 和 雄

5月1日から中部地区公民館の館長として勤務することになりました。不慣れなので不安もありますが、これまで公民館事業に携ってくださった前館長や職員の皆様、中部地区管内の地区会長、運営協議会委員やそれぞれ部門の各委員の皆様の力添えを頂きながら地域の皆様の学習の場、健康づくりの場、そして交流の場として気楽に気軽に足を運べる公民館に行きたいと考えております。公民館運営に対してのご意見ご要望などございましたら遠慮なくお申し付けください。心機一転で頑張りますのでよろしくお願い致します。



一緒にやってみっぺ

中部地区公民館愛好会 会員募集中！

中部地区在住の方ならどなたでも入会できます。すべての愛好会が初心者(初級)向けです。

男の料理愛好会	俳句愛好会	短歌愛好会
講師 その都度	講師 石井浩吉さん、堀川栄助さん	講師 鎌上純子さん
開催日 年2回程度	開催日 月1回 第4水曜日	開催日 月1回 第3火曜日
会費 材料代随時	時間 午後1時30分から4時30分	時間 午前10時から正午
現会員 20名	会費 月500円	会費 月500円
	現会員 7名	現会員 10名

百歳体操愛好会
講師 なし
開催日 週1回 木曜日
時間 午前10時から11時
会費 なし
現会員 20名

川柳愛好会
講師 松田吉弥さん
開催日 月1回 第2火曜日
時間 午前10時から正午
会費 月500円
現会員 11名

会場は全て中部地区
公民館です。

入会希望の方、感心
のある方は公民館に
お電話ください。

電話 673-2588



はこべの会 5月のサロン

成年後見制度についての講演と茶話会

5月20日(水)多目的ホールにて【青年後見制度】について社会福祉協議会から、鈴木佐奈恵さんを講師に迎え研修会を行いました。

最初「難しい話はどうしようかな」と言っていた人も「成年後見制度の基本など、今までぼんやりとしかわからなかった事がわかってよかった」「基礎知識を得る事ができた」「法廷後見と任意後見の違いがわかった」などの感想をいただきました。



4親等内の親族関係図を、サザエさんの波平さんの場合を用いて、わかりやすく説明をしてくださいました。

「話せる範囲の中で具体例を用いた話が聞きたい」「具体的な手順が知りたい」など話している方もいました。

本日のおさらいとして6問の○×クイズをしました。全問正解の方も、そうでない方もいましたが、間違った方はどこが間違ったのかを隣の人と話しあいながら正解をさがしていました。

少し難しい話でしたがこれから先、必要になる話でした。



高齢者教室(はこべの会)では随時会員を募集しております。入会希望の方は公民館においてくださるか、お電話ください。

会員の方には高齢者教室で開催する学習会(歌の教室、健康講座、スポーツ他)の案内をお送りしております。

ぜひ、ご近所の方、お友達と一緒にご入会ください。

体育レクリエーション募集

街歩きウォーキング②(ホテル観賞)

落ち着いた光を放つホテルをみなさんと観賞しませんか？

日 時	6月28日(日)午後7時00分
集合場所	上小グラウンド南側 市営月岡駐車場
ガイド	牧野義文さん
対象	中部地区在住の方、上山小学校児童と保護者
募集人数	10組程度
参加費	無料
申込締切	6月22日(月)
持ち物	懐中電灯、必要な方は飲み物
その他	散策しやすい服装、履物



健康ポイント対象事業 20P

一般講座募集

一日研修 下水道の仕組みを知る&陶芸教室

日 時	7月10日(金)午前9時40分集合 午後3時30分公民館着予定
集合場所	中部地区公民館 ギャラリー
内 容	上山市浄水センター見学 昼食 陶芸教室
対 象	中部地区管内在住の方
募集人数	15人
参加費	2,500円
申込締切	人数になり次第締切ります
持ち物	必要な方は飲み物



※都合により、内容が変更になる場合があります。

中部地区公民館事務長募集のお知らせ

要 件	① 健康で意欲的かつ、コミュニケーション能力の高い方 ② パソコン操作(Word・Excel)ができる方 ③ 65歳未満の方
職務内容	公民館事業の企画、運営、経理、労務、施設管理等
募集人数	1人
給 与	月額 238,000円 健康保険、厚生年金保険、雇用保険等適用
勤 務	週35時間(午前8時30分～午後5時15分) *残業あり。公民館事業等により土・日・祝日勤務あり。
採用期日	令和8年10月1日
応募方法	履歴書1部を持参、または郵送 令和8年8月20日(必着) 面接日につきましては、別途連絡いたします。

6月の予定

3日(水)	街歩きウォーキング①西山
6日(土)	第1回公民館清掃
9日(火)	フライングディスクと輪投げ大会
12日(金)	防災講座
17日(水)	はこべの会 サロン
23日(火)	はこべの会 1日研修
24日(水)	//
25日(木)	上山城周辺清掃
28日(日)	街歩きウォーキング② ホテル観賞

はこべの会 サロン

6月のサロン

「夏越の祓い」水菓子で茶話会

日 時	6月17日(水)
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
会 費	300円
申込締切	6月11日(木)

6月の百歳体操 4、11、18、25日

183号公民館だよりについて

令和8年度名簿のなかで、2つ目の表に事業協力員の表題記載漏れがありました。大変申し訳ございませんでした。

藤井松平氏シリーズ6. 松平信行（7）「観音堂の再建、復興」

町家復興の象徴として湯の上観音は再建されました。その様子が書きとどめられています。観音堂は主要部は檜です。構造は床面に比して背が高い入母屋唐破風造りです。三番目に本尊安座の上の千鳥破風天頂に悟りを示す「般若面」、唐破風の天頂に参詣者を守護する「獅子面」を飾っています。四番目にその拜殿破風を豪壮な金剛力士（建築力士）が屋根を支えています。五番目に参道階段から観音堂までは飯盛女奉納のお太鼓状の石畳が敷かれています。このお面付きのお堂は白鷹の神社、大江町の巨海院などに僅か見られる希な意匠です。また、金剛力士が梁を支える造りも珍しく、最上義光の娘の駒姫を祀った山形の専称寺、出羽三山（羽黒山）神社に見られますが、実質的に梁を支える意匠としては希な建築様式です。

これら意匠は材木の寄進、勸募金（浄財）の集まり具合にあわせ、八幡屋で何度も世話人と棟梁らが打ち合わせして図面を引いたことでしょう。被災から20年を経た弘化二年（1845）10月23日に上棟式が行われました。大工頭は新丁の太田権次郎棟梁です。太田権次郎は後に観音堂の建築を隆應和尚に見込まれて斎藤茂吉の菩提寺の金瓶宝泉寺のお寺を手がけています。

この再建途中の様子を旅人が記録しています。山形藩六万石秋元志朝が弘化2年（1845）上野館林藩への国替えが発令されますが、家臣山田喜太夫秀信の妻音羽が翌年5月23日に脇本陣亀屋で休息を取りました。その際、「最上三十三番の札所の観音があるのでお詣りしようとして見ると御堂は普請のていなり、下の方を見おろせば會津屋の二階座敷もみえ、前には大湯がにぎわっている様子でした」と綴っています。この日記は山田音羽の『お国替え道中記』として館林（群馬県）までの道中絵日記として貴重な記録となっています。

さて、観音堂は人々の丹精が実って弘化四年（1847）7月いよいよ落成の日を迎えました。入仏式は、7月26日明け方より山形寶幢寺住

職の朝海大導師が前泊していた角の丸屋からお出ましになり、御供の観音寺住宥壽、町内各寺々より六、七人の僧侶、その後世話人高橋藤右衛門、松本長兵衛、河合新六、高橋専右衛門、清野孫右衛門ら15人、補世話高橋重三郎ら16人が続き、村々から飾物が出る落慶式となりました。

「各村々に飾物一組づゝ頼んでおいたので見事な飾物が出揃い、なかでも高松村からは大八車に大きな桜をあつらえて下に大牡丹を飾り、引き手20人ほどが半纏に鉢巻をして付添い、小穴村の奉納は大飾りを大勢で担いで練り歩き、藤吾村の奉納は大三宝に一俵餅を重ねて若者4人が担いで行列した。その他にも様々な奉納飾りがあって書き上げられないくらい。又、会津屋表座敷に茶酒赤飯等の接待、生花を飾り、大湯前の馬洗い湯坪の上から細木で五六尺余の那智山の大瀧を造り、その下に巡礼人形を飾って目を見張るみごとさだった。天気もよくて参詣の群衆があふれ近來まれなる人出の賑わい」。

こうして湯の上観音堂は町衆、村衆皆々の挙げての熱誠尽力によって再建されたのでした。世話人、町衆、在所村々の有志の人々は「観音堂再建無尽講」を作って長年努力してきたのが実だったのでした。「講」まで作って観音堂を再建し街を再興したことを忘れてはならないように思います。



山田音羽『御国替の記』
～観音様への石段と下
大湯、会津屋玄関～

※参考文献：山田音羽子『お国替絵巻』、②「上山年代略記」、⑫「上山郷土史」、⑬「上山見聞随筆」、「湯上観音縁起書」。